

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	2-3-3	3-4-1	事業名	交通バリアフリー推進事業
担当	市)総合交通計画部交通企画課 賀澤(211-2492)			
全体計画（当初）				
事業内容	「札幌市交通バリアフリー基本構想」で定めた重点整備地区（都心地区、副都心地区、麻生地区）のバリアフリー化の実現に向けた取り組み状況等について情報提供を行うとともに、16年度からは基本構想に基づき施設整備を進めることから、JR北海道など公共交通事業者の取り組みに対して補助を行います。また、重点整備地区以外についても、交通バリアフリー法で定められる公共交通事業者の努力義務に対してバリアフリー化整備の補助を行います。 バスターミナルバリアフリー化補助 JR駅バリアフリー化補助（エレベーター、多機能トイレ等） 交通バリアフリー特定事業計画パンフレット及びホームページ作成		＜年度別の事業内容＞	
			【平成16年度 47,000千円】 札幌駅バスターミナルバリアフリー化補助 6,000千円 JR稲積公園駅バリアフリー化補助 40,000千円 交通バリアフリー特定事業計画パンフレット・ホームページ作成 1,000千円 【平成17年度 39,760千円】 JR森林公園駅バリアフリー化補助 39,760千円 【平成18年度 43,240千円】（予定） JRあいの里教育大駅バリアフリー化補助 39,740千円 中央バス札幌ターミナルバリアフリー化補助 3,500千円	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	高齢者、身体障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性や安全性を向上するため、JR北海道やバスターミナル事業者が行うバリアフリー化整備について補助を行いました。また、札幌市交通バリアフリー特定事業計画を周知するため、パンフレットやホームページを作成しました。 JR稲積公園駅バリアフリー化補助 39,762千円（EV2基、多機能トイレ1箇所、警告・誘導ブロック等） 札幌駅バスターミナルバリアフリー化補助 6,300千円（横断歩道、信号機8基、遮断機、警告・誘導ブロック等） パンフレット・ホームページ作成 645千円（特定事業計画パンフレット200部、ホームページ作成）		高齢者、身体障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性や安全性を向上するため、JR北海道が行うバリアフリー化整備について補助を行いました。 JR森林公園駅バリアフリー化補助 33,557千円（EV2基、既存トイレの多機能化1箇所、警告・誘導ブロック等） 事務費等	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	高齢者、身体障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性や安全性を向上するため、JR北海道が行うバリアフリー化整備について補助を行う予定です。 JRあいの里教育大駅バリアフリー化補助 41,233千円（EV2基、誘導・警告ブロック、手摺り等） 事務費等		公共交通事業者のバリアフリー化の取り組みを支援することにより、公共交通機関のバリアフリー化が進み、利用者の利便性が向上しました。	
課題				
「移動円滑化の促進に関する国の基本方針」に掲げる目標年次である平成22年に向けてバリアフリー化を促進する一方で、国、本市ともに財政状況が厳しくなっていることから、補助対象設備の見直し等、総事業費の圧縮についてJR北海道などの公共交通事業者と引き続き協議を行っていく必要があります。				
19年度以降の方向性（事業予定）				
JR北海道では、国の基本方針に掲げる努力目標である平成22年までに、利用人員が5,000人/日以上以上の駅はできる限りバリアフリー化を進めたいとしています。未整備駅の整備には構造上の課題も多いため、JR北海道との協議、調整を行っていきます。（平成19年3月末現在の5,000人/日以上未整備駅：発寒、発寒中央、苗穂、白石、厚別、新札幌）				

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書 (単位:千円)

施策体系コード	2-3-3	3-4-1		事業名	交通バリアフリー推進事業
---------	-------	-------	--	-----	--------------

事業費の推移

項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)	
計画	事業費	47,000	39,760	43,240	130,000	-	
	財源内訳	国・道支出金				0	-
		市債				0	-
		その他				0	-
		一般財源	47,000	39,760	43,240	130,000	-
実績	事業費	46,707	34,255	41,382	122,344	94.1	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	-
		市債	0	0	0	0	-
		その他	0	0	0	0	-
		一般財源	46,707	34,255	41,382	122,344	-

計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)

[16年度][17年度]  
当初計画どおり実施しました。  
[18年度]  
18年度予定していた中央バス札幌ターミナルバリアフリー化については、隣接する創成川通の整備後の新たな歩行者導線のあり方を含めた総合的な検討後に実施する旨、施設管理者から意向が示されております。

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)
バリアフリー化されたJR駅舎数(率)	9駅(34.6%)	10駅(38.5%)	11駅(42.3%)	11駅(42.3%)	12駅(46.2%)

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経・臨 臨時	枠内外 枠内	16年度	17年度	18年度	計
交通バリアフリー推進事業(一部)			46,707	34,255	41,382	122,344
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			46,707	34,255	41,382	122,344